

令和4年度 第1回千葉県農林公共事業評価審議会

再評価 No. 1

農業農村整備事業
広域営農団地農道整備事業

安房2期地区

安房農業事務所

広域営農団地農道整備事業とは

〔事業の目的〕

農業振興を図る地域において、農道網の整備により高生産性農業を促進し、農業の近代化を図り、併せて農村環境の改善に資する

〔事業の内容〕

広域営農団地における農道網の基幹となる農道の新設・改良

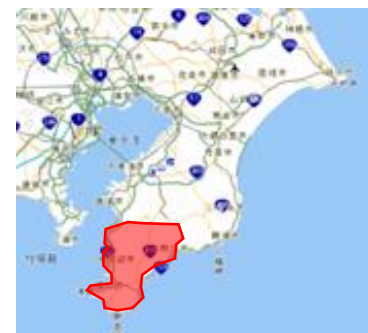
〔採択要件〕 ※特殊地域（半島振興など）

- ・ 受益面積がおおむね300ha以上
- ・ 延長がおおむね5km以上
- ・ 車道幅員が4.0m以上
- ・ 自動車交通量のうち、農業に係るものが過半を占める

広域営農団地農道整備事業「安房地区」の概要

〔事業の目的〕

本地区の生産基盤の安定を図るため、農業・観光の両輪がスムーズに連動していくよう、流通と観光客両方の流れを考えた道路網を整備することにより、地域の発展に資する



〔関係市町村〕

館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町

〔受益面積〕

7, 8 4 4 ha

〔総事業費〕

1 3, 2 5 7 百万円 (予定)

〔負担区分〕

国 5 0 %、県 5 0 %

〔工期〕

平成 7 年度～令和 5 年度

〔主要作物〕

米、びわ、温州みかん、
食用なばな



広域営農団地農道整備事業「安房地区」の概要

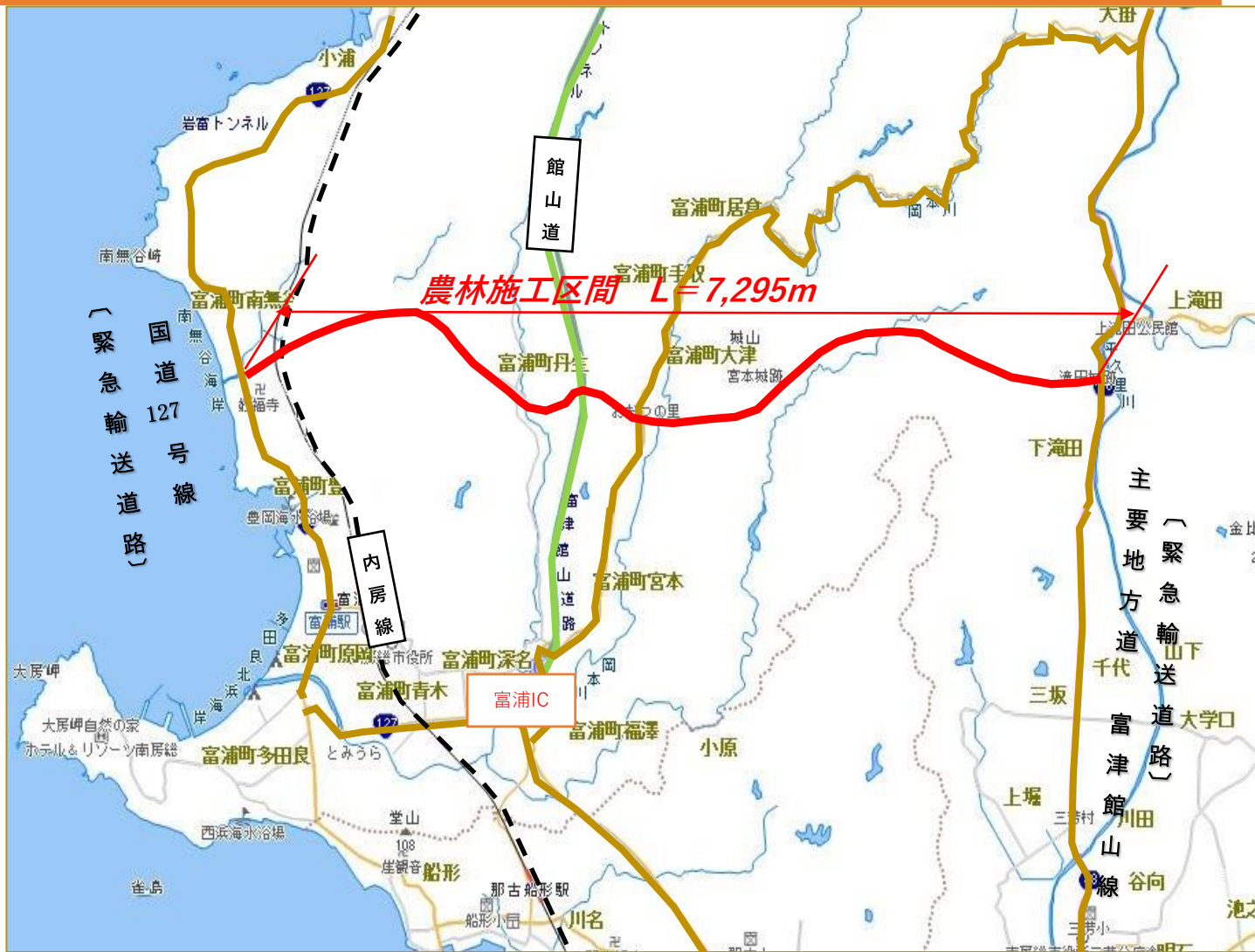
〔安房地域の特色〕

- ・ 三方を海に囲まれた豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、ストック等の花き、酪農、食用なばな等の野菜、ビワ・イチゴ等の果樹など、多様な特色ある農林業を展開
- ・ 山海の豊かな自然環境や、花摘み、ビワ狩り、酪農体験などの豊かな観光資源

〔期待される事業効果〕

- ・ 農業の活性化…輸送時間の短縮
- ・ 観光交流の活性化…観光農園、直売所等へのアクセス強化
- ・ 地域住民の安心・安全…緊急輸送道路へのアクセス強化

広域営農団地農道整備事業「安房地区」の概要



主要道路（緊急輸送道路）を東西に接続

広域営農団地農道整備事業「安房地区」の概要



区分	安房地区(1期)	安房2期地区				全体
延長	4,078m	3,217m				7,295m
補助金/交付金	補助金	補助金	道整備 交付金	地方創生道整備 推進交付金		
期間	H7~H21	H19~H21	H22~H28	H29~	H7~R5	
事業費	8,734百万円	109百万円	1,087百万円	2,434百万円	893百万円	13,257百万円

※安房地区は長工期化したため、H19から安房地区(1期)と安房2期地区に分割採択された

安房 2 期地区 平成29年度再評価の結果

[再評価に至った経緯]

公図混乱地域の存在により用地買収が難航し、不測の日数を要した

[処理方針]

今後の事業の進め方として、まずは国道127号から大津地先（県道犬掛館山線）までの供用開始を目指す

[審議結果]

継続が妥当である



安房 2 期地区の整備状況



令和 5 年度上半期までに、国道 127 号から県道犬掛館山線までの区間が供用開始する見込み

整備状況①



整備状況②JR横断



国道127号から県道犬掛館山線間までの供用効果



- 農産物の輸送時間短縮
- 災害時の避難路として機能
- 道の駅、観光農園等を接続し、観光客が増大

安房 2 期地区の進捗状況

〔安房地区の特徴〕

- ・ 既存の道路網は南北に走り、東西に結ぶ道路が無い
- ・ 山林地帯のため、土地の権利が不明確
- ・ 山林地帯のため、工事が難航し工事費もかさむ



山林を切り開いて道路を造成するため、用地買収が必須

〔主な遅延原因〕 7・8 工区：用地買収が難航

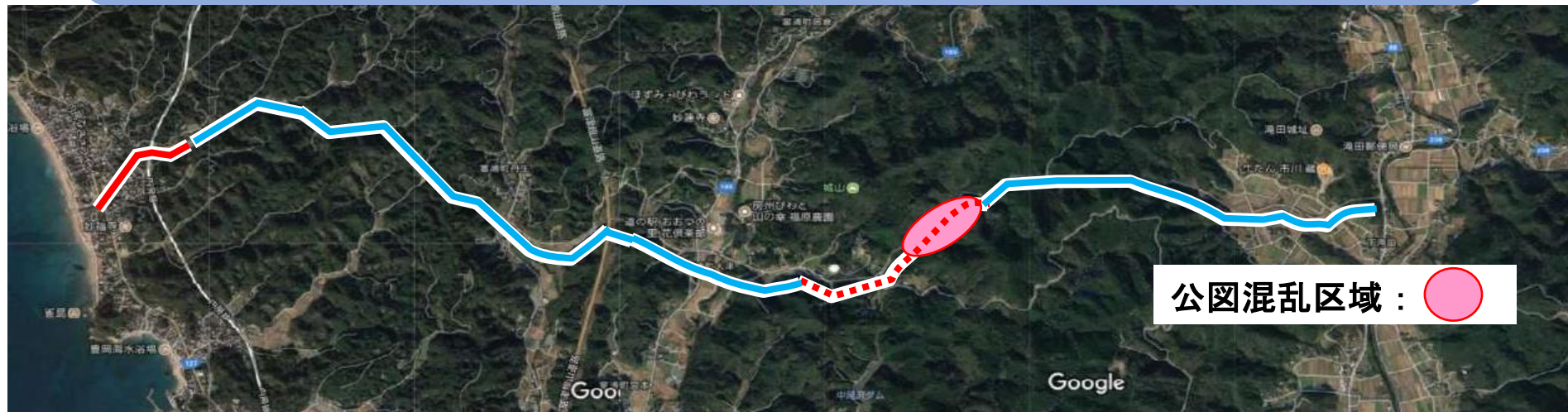
安房 2 期地区の遅延原因と対応

〔遅延原因①〕 相続未登記による用地取得の遅れ

〔遅延原因②〕 公図混乱・・・法務局と処理方法の協議
用地買収が難航

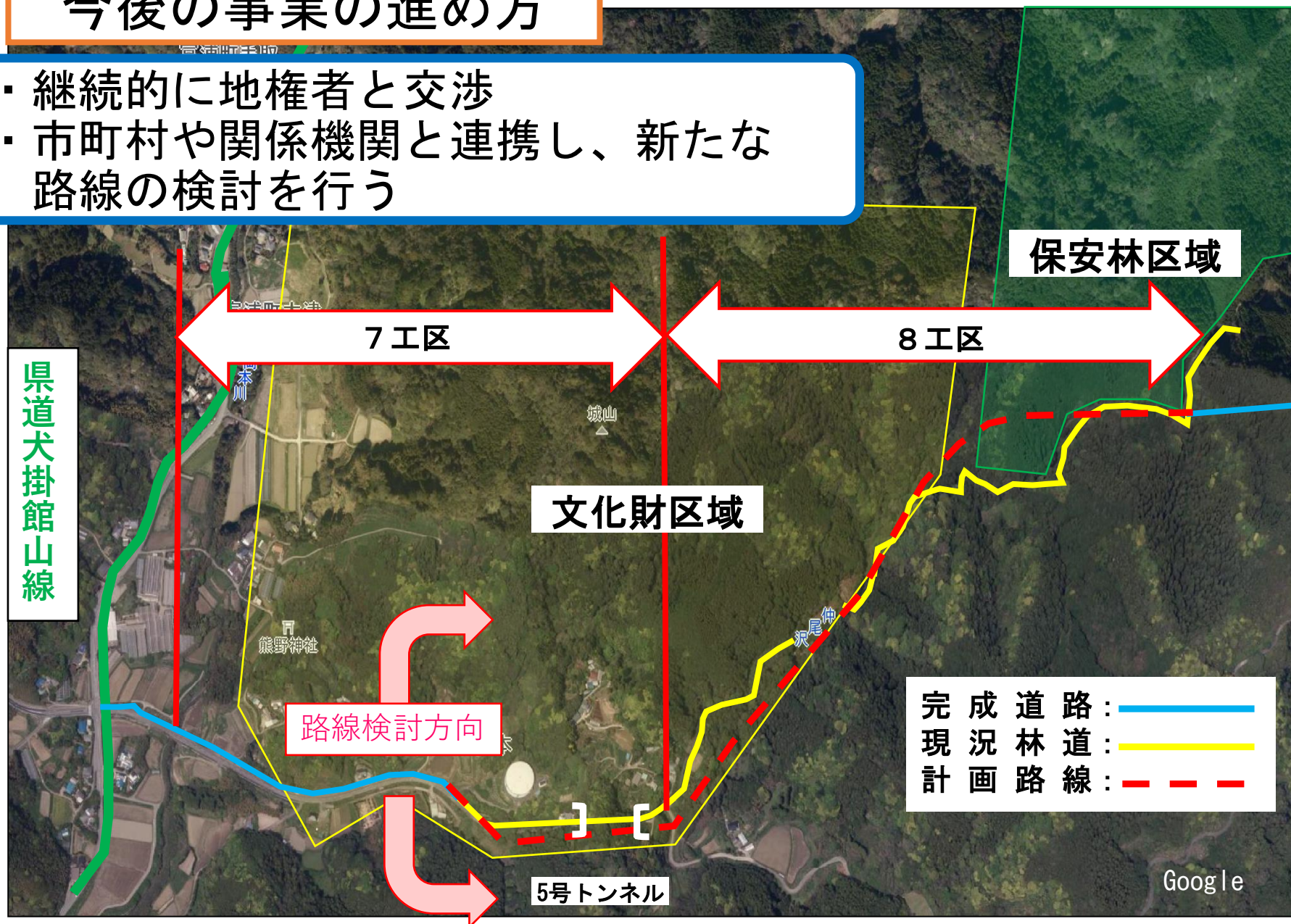
〔対応状況〕

- ・ 用地買収が難航している箇所 の地権者を継続的に訪問
- ・ 用地交渉を続けながら新たな路線の検討を行う



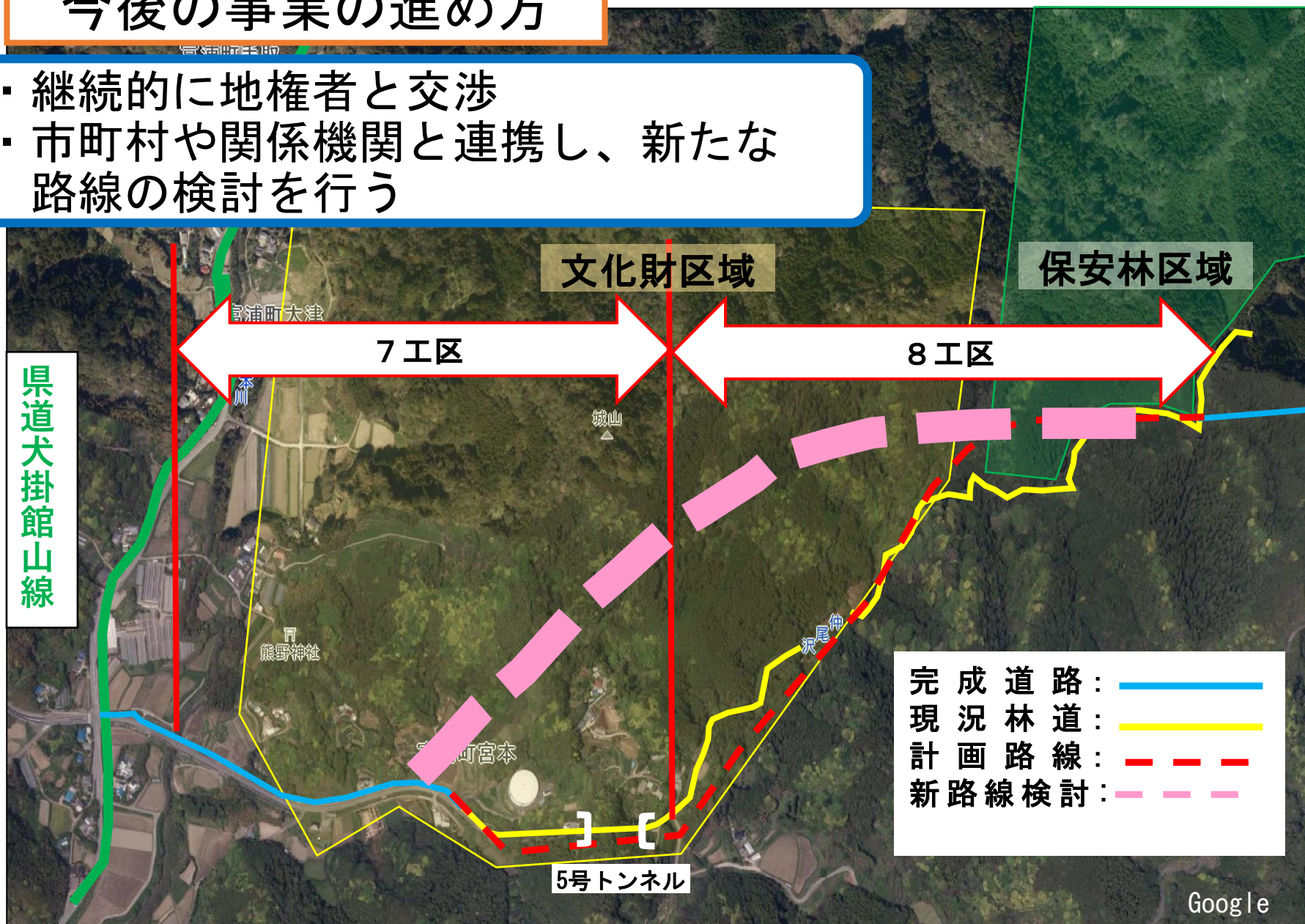
今後の事業の進め方

- ・ 継続的に地権者と交渉
- ・ 市町村や関係機関と連携し、新たな路線の検討を行う



今後の事業の進め方

- ・ 継続的に地権者と交渉
- ・ 市町村や関係機関と連携し、新たな路線の検討を行う



事業再評価地区調書

事業所管課 耕地課

番号	事業区分	採択年度	地区名	所在地	計画期間	実施期間	経過年数	特記事項	処理方針(案)	
	広域営農団地農道整備事業	H19	安房2期	南房総市	H19～R5	H19～R5	15年		継続	
(1)	全体		本年度(見込み)まで			進捗%	次年度以降		備考	
事業進捗状況	事業量		事業費		事業量		事業費		受益面積7,844ha (水田5,520ha畑1,417ha樹園地407ha採草放牧地500ha)	
	農道工	L=3,217m	百万円	農道工	L=1,796m	百万円	農道工	L=1,421m		百万円
	道路工	L=3,111m		道路工	L=1,758m		道路工	L=1,353m		
	トンネル工	L=106m(2ヶ所)	4,523	トンネル工	L=38m(1ヶ所)	3,208	70.9%	トンネル工	L=68m	
	用地費等	1式								
(2)	地元及び関係機関		意向及び意見			(3)	事業名等		進捗状況	
意向	南房総市		南北を走る国道・県道等と横断的に連携し、農産物の生産・集出荷体制の組織化と管理体制の強化を図り、併せて生活環境の改善を図るため、本事業の推進が必要であり、早期完成を強く要望する。			関連する事業	県単道路改良事業 広域営農団地農道整備事業 安房東部地区 農用地総合整備事業 安房南部区域 広域営農団地農道整備事業 安房地区		H7～ 6% 未採択 H13～H21 H7～H21	
(4)			(現計画)	(計画変更)	(増△減)	備考		(5)	(6)	
事業計画内容の変更等	農道工	L=3,217m				社会経済情勢の変更等	東京湾アクアライン並びに館山道の開通、さらに4車線化の計画に伴い南房総への首都圏からの観光客が見込まれる。このため、国道127号・128号の渋滞が予想されることから、農作業車の走行や農産物の集出荷に多大な支障を来す。	費用対効果要因の変化	投資効果 現経計画1.13	
	道路工	L=3,111m								
	トンネル工	L=106m								
	用地費等	1式								
	事業費(百万円)									
(7)	<p>本事業によって地域の道路ネットワークを充実させることにより、農畜産物の迅速な輸送や、点在する直売所や観光農園の接続が図られ、高生産性農業の促進や地域の活性化につながるとともに、災害時における緊急輸送路へのアクセス強化としての機能の確保・拡充も図られる。</p> <p>令和5年度上半期までに国道127号から大津地先までの供用開始を目指し、1、2工区の工事を優先的に進めてきた。未着手区間については、用地交渉を続けながら、広く路線を検討する。</p> <p>以上から、本事業を「継続」としたい。</p>									
処理方針の考え方										
備考										